

2017年5月20日

日本現象学・社会科学会報 第96号

日本現象学・社会科学会 事務局
〒168-0061 東京都杉並区大宮 2-19-1
高千穂大学 人間科学部 木村研究室内
Tel/Fax: 03-3317-4077 (内線 3308)
E-mail: info@jspss.org
HP: http://www.jspss.org/

1. 2016年度第33回大会報告

2016年度第33回大会は、2016年12月4日、大正大学において開催されました。開催校世話人の張江洋直会員をはじめ、ご協力いただいた皆さまにあらためまして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

2. 2016年度第33回総会報告

大会2日目に開かれた総会では、徳久美生子会員（武蔵大学）を議長に選出した後、以下の諸点について報告があり、審議事項については委員会の提案通り、承認、決定されました。

報告事項

(1) 2016年活動報告

- 1) 会報発行（第94号：2016年5月25日、第95号：2016年11月8日）
- 2) 年次大会開催（2016年12月4日、於大正大学）
- 3) ホームページの運営 <http://www.jspss.org/>
- 4) 広報活動：大会ポスターの作成、関連ML等への案内送付
- 5) 学会誌準備委員会（準備担当：嘉指、清家、福永）

(2) 会員異動（敬称略）

入会 4名

石田 裕美子（立正大学大学院）	2015年12月6日入会申請
栗原 亘（早稲田大学大学院）	2015年12月5日入会申請
小松 伸二（立正大学大学院）	2015年12月6日入会申請
安田 悠介（東北大学大学院）	2016年7月15日入会申請

退会 2名

本柳 亨（2015/12/14退会申請）、岡谷 大（2016/8/15退会申請）

本日承認の入退会者を含む会員状況 124名（2016年12月4日現在。前年度122名）

審議事項

(1) 2016年度決算：事務局より決算の報告（別紙）、監事の清家竜介会員から適正である旨、監査報告がなされ、原案通り承認されました。会費収入の減は、ニューズレター以降による振込者の減の影響と思われるため、次年度以降の対応についてはあらためて検討することに。

(2) 2017年度予算：別紙、事務局提案（別紙）の通り承認されました。大会開催費10万円の増分

は、今年度大会での会場費（教室使用料6万2100円を含む）を見込んだもの。

(3) 6. 5年間未納会員について（会則十三条）

（氏名はWeb掲載版では割愛）

会則では未納5年で退会したものとみなすことになっているが、慣例により2017年度（現委員会の任期終了年度）前半に督促状を出し、大会までに納入がなければ、退会処理を行う。

(4) 次年度大会について：開催校、開催時期について事務局に一任するというご承認いただきました。※総会后、委員会での調整を経て、榊原哲也会員を世話人として、11月最終週の土日（25～26日）に、東京大学（本郷キャンパス）を会場として開催することに決定しました。

(5) 学会誌の創刊について

昨年度総会にて議決された学会誌の創刊準備について、嘉指委員より以下の提案がなされ、承認されました。

・2017年度大会報告分より電子ジャーナル形態の査読誌を発行する。ただし編集・査読体制や投稿規程の詳細については来年度総会で審議・決定する。

・来年度の一般報告募集の段階では、現在電子ジャーナル形態の査読誌の創刊を学会として準備中であり、大会報告を前提とした投稿を受け付ける予定である旨、また詳細な投稿規程については2017年度大会の総会において委員会が提案し、総会で承認を得る予定である旨を伝えることとする。

あわせて委員会内の個別意見として、編集査読体制と投稿規程の詳細について、来年度総会決議を経たうえで、一般報告募集をするべきではないか、ただし決定は総会に委ねるとの見解があったことが、嘉指委員より報告された。

（質疑応答の概略はWeb掲載版からは割愛）

3. 2017年度第34回大会について

2017年度の年次大会は、榊原哲也会員のお世話により2017年11月25・26日の日程で、東京大学（本郷キャンパス）での開催を予定しています。

書評セッションその他ワークショップ等の企画案がありましたら、事務局あてにお寄せただけであれば幸いです。

4. 一般報告の募集と学会誌の創刊について

今年度大会での一般報告の報告者を募集致します。報告をご希望の方は、8月31日までに、1) 報告タイトルおよび概要(300字程度)、2) お名前、3) ご所属、4) 連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス等)を添えて、事務局木村(info@jspss.org)までお申し込み下さい。1)～3)の項目については、プログラム等とあわせて、HP掲載を予定しております。報告時間は各45分(質疑応答15分を含む)を予定しています。

なお、現在当学会では、電子ジャーナル形態の査読誌の創刊を準備中であり、大会報告を前提とした投稿を受け付ける予定です。詳細な投稿規程については次年度大会の総会において委員会が提案し、総会で承認を得る予定ですので、あわせてご了承願います。

5. 学会費納入のお願い（略）

以上

日本現象学・社会科学会 2016年度決算
(2015年12月～2016年11月)

収入の部

費目	予算	決算	備考	前年度比	2015年度
前年度繰越金	1,176,057	1,176,057		▲ 23,750	1,199,807
会費	150,000	98,000		▲ 124,000	222,000
入会金	6,000	7,500	一般6名、学生3	5,500	2,000
雑収入	100,000	95,946	懇親会参加費 80,000 大会参加費 6,000 その他 9,946	24,946	71,000
合計	1,432,057	1,377,503		▲ 117,304	1,494,807

支出の部

費目	予算	決算	備考	前年度比	2015年度
大会開催費	250,000	203,870	講師謝礼(遠方非会員2名) 56,000 アルバイト代 54,098 懇親会費用 60,000 その他 33,772	▲ 91,111	294,981
事務局費	20,000	0		0	0
通信費	10,000	1,651		16,874	18,525
印刷費	20,000	3,600		▲ 3,600	0
文具費	10,000	0		5,244	5,244
会議費	10,000	0		0	0
予備費	1,112,057	0		0	0
合計	1,432,057	209,121		▲ 72,593	318,750

次年度繰越金

1,168,382

▲ 7,675

上記決算案につき、監査の結果、適正に処理されていると認めます。

2016年12月4日

監事

監事

清家 竜介
福永 俊哉



日本現象学・社会科学会 2017年度予算

(2016年12月～2017年11月)

収入の部

費目	予 算	備考	前年度比	2016年度
前年度(2016年度)繰越金	1,168,382		▲ 7,675	1,176,057
会費	150,000		0	150,000
入会金	6,000		0	6,000
雑収入	100,000	懇親会参加費等を含む	0	100,000
合計	1,424,382		▲ 7,675	1,432,057

支出の部

費目	予 算	備考	前年度比	2015年度
大会開催費	350,000		100,000	250,000
事務局費	20,000		0	20,000
通信費	10,000		0	10,000
印刷費	20,000		0	20,000
文具費	10,000		0	10,000
会議費	10,000		0	10,000
予備費	1,004,382		▲ 107,675	1,112,057
合計	1,424,382		▲ 7,675	1,432,057